

「性の多様性について私が考えること」

一の宮中学校 1年

しょうだい あやね
小代 絢音

私は、小学校五年生から今の中学校一年生まで、ずっと人権委員会に入っています。いじめをなくしたり、世界の子どもたちが勉強できる環境をつくったりするために、私たちにできることは何かということを考えてきました。

ある時、私は疑問に思っ

たことがあります。それは、「男だから」「女だから」という性別に対する偏見があることについてです。なぜ、私がこのことに疑問を持ったのかというと、私の憧れの人への偏見を見てしまったからです。憧れの人は歌手として働いています。その人は、自分の性に違和感があることを公表しています。自分の性に違和感があるとは、自分の生まれ持った身体の性と心の性が一致しないと感じていることです。憧れの人は、身体の性は女性で、心は男性だということを公表しています。公表する前は、ファンが減ってしまうのではないかと不安でいっぱいだったそうです。公表したあと、ほとんどのファンの人は否定することなく、受け入れてくれたので安心したそうです。しかし、一部の人の人から誹謗中傷などを受けたことが多くあったそうです。その中で

も、私が一番酷いと思ったことは「心は男でも身体は女なんだから、結局は女なんだろう。だったら、高い声を出したり女声を出したりするな。身体の性と心の性が違うなんてうそだろう。うそつき。」などのコメントです。私はコメントを見て、（これほど叩かれているのは、どう考えてもおかしい。自分自身の性に悩んでいる人のことを馬鹿にしているし、根拠もなくウソだということとは本当におかしい。）と思いました。また、自分の性別や性の多様性のことを、みんなに話すためにどれだけ心配や悩みを抱えながら、どれだけ勇気を出して話をしてくれたのかを少しでも考えてから発言をしてほしいなと思いました。ですが、私もたまに友達とふざけ合って、強い口調になってしまいうことがありますが、でも、この人権作文を書きながら、やっぱり偏見

を持つてはいけないことだし、性的マイノリティーの人達への理解をしようとせず、悪く言うのはダメだと改めて感じる事ができました。だから、これからは、友達と話す時には、言葉づかいに気をつけて、自分の

周りの人や大切な人が傷つけられていたら自分から助けに行こうと思います。「男だから」「女だから」という偏見はやめて、一人ひとりが縛られることのない自由な世界になることを願っています。

先生からのコメント

ある歌い手の方を知り、「〇〇だから」という決めつけから生まれる差別について考えた絢音さん。絢音さんは、だれとでも平等に接することができ、クラスでも信頼される存在になっていきます。

現在、多様性が認められはじめ、「自分らしさを認め合う」という考え方がスタンダードになりつつあります。しかし、差別で苦しむ人はまだまだいます。悪口や

批判はほんの一部の人が言っていたとしても、本人の耳には簡単に届いてしまいます。絢音さんが考えたように、まずは「自分の言葉や言動に気をつけること」、そして、「周りの差別は許さないこと」の大切さに改めて気づかれました。一人一人が自分らしく生きることができ、世の中になるために、私たちは何をすべきかがしっかりと綴られている作文です。

アソヒト



Vol.3 狩尾3区のみなさん（扇切保存会）

みなさんは狩尾の扇切りをご存知でしょうか？

毎年8月第1週日曜日に行われ、田畑の害虫避けや牛馬の安全、五穀豊穡や健康祈願が扇に込められており、伝承され、現在も続いています。1年前に阿蘇へ来て、すぐにこの扇切りの活動を知り、今回1年越しに願い叶って作業に同行させていただきました。当日車を乗り換え、第1集合場所へ軽トラに同乗させてもらい、道中車体に揺られながら扇平へ向かいます。途中木々のトンネルや牧野の景色に圧倒されていたらいつの間にか集合場所に到着。すでに先行隊のみなさんが先に上がられているということなので、合流するため徒歩で標高750mある第2集合場所の扇平頂上を目指します。「ここが第1関門だから」その言葉の意味が最初分からなかったのですが、切り立った山の側道を歩くうちに、だんだんと身体がその意味を理解し始めました。緊張と好奇心が攻めぎあう心を落ち着かせながら進んでいくと第2集合場所に到着。そこから見える景色は普段見ているものとは何か別物のような、遠い場所のような不思議な雰囲気に包まれていました。そこから15分程、参加者のみなさんとお話ししながらの小休憩で身体を整えたところで、ついに本番へと移ります。坂の傾斜は30度-50度程だったのだろうか、その場所に立った瞬間自然と体勢を低くし、滑らないように意識を集中させている自分の横で、慣れた足並みで刈払機を操り、作業されているみなさんの姿が今も脳裏に焼きついています。また来年も参加して、この場所でみなさんとお会いできるのが私の来年の目標の1つです。



阿蘇市地域おこし協力隊
長尾 昌樹
(まちづくり課 所属)



@ASOLEAN_N



阿蘇医療センター (電話予約センター直通)
☎ 34-0311 ☎ 34-0319
窓口受付時間 8:30～11:30 予約受付時間 8:30～11:00
(一部診療科を除く) 14:00～17:00
※ 診療は前日までの予約制。 ※ 土日、祝日、年末年始を除く。
(緊急時と小児科を除く)



病児・病後児保育事業

阿蘇市からの委託を受けて医療センター内に保育所(すずらんルーム)を開設し、阿蘇地域の保護者の子育てと仕事の両立を支援する事業に取り組んでいます。

生後 6 カ月から小学 6 年生のお子様を養育されている保護者の皆さま、どうぞご利用ください。

対 象 児 童

次の要件全てに該当する児童が対象となります。

- ▶ 生後 6 カ月から小学 6 年生までの児童
- ▶ 病気の治療中または回復期にあり、医療機関による入院加療の必要はないが、病児・病後児保育の利用が可能であると医師の診断を受けた児童
- ▶ 保護者の就労、傷病、事故、出産、家族の介護または看護、冠婚葬祭その他社会的にやむを得ない事情により、家庭において保育が困難な児童

利 用 方 法

- ①対象となる児童が医療機関(かかりつけ医)を受診
↓
- ②医療機関(かかりつけ医)による集団保育が困難と診断
↓
- ③対象となる児童の保護者が保育所(すずらんルーム)に利用問い合わせ
↓
- ④保育所(すずらんルーム)に「利用申請書」・「診療情報提供書」・「投与薬依頼書」の提出
↓
- ⑤利用が決定した場合、「利用決定書」を交付

定 員

2 人 / 1 日

利 用 時 間

月曜日から金曜日(祝祭日を除く)
午前 8 時 から 午後 6 時まで

利用料金

【阿蘇市民】 1,000 円 / 5 時間以内
2,000 円 / 10 時間以内
【阿蘇市外】 1,500 円 / 5 時間以内
3,000 円 / 10 時間以内

○病児・病後児保育って何？

子どもが病気の治療中や回復期で集団保育が困難な場合や、保護者がやむを得ない事情など、ご家庭で保育ができない場合に、一時的に施設で保育する制度です。

☎阿蘇医療センターすずらんルーム ☎34-9026



国内唯一の眼鏡の国家資格「**1級眼鏡作製技能士**」阿蘇唯一の**認定補聴器技能者**
話してみませんか？ 聞こえのお悩み
補聴器相談会 音は脳で聞いています。
毎月第①・③木曜日13:00～
(事前予約受付中)
聴力測定・補聴器体験・無料レンタルなども、ぜひご利用ください。
当日は混雑を避ける為、事前のご予約をお勧めしております。
めがね・補聴器・時計・宝飾
あそしな時計店 TEL 0967-22-3619 携帯 09046782995
黒本島阿蘇市一の宮町宮地1843-2 FAX

図書館へ行こう！ Aso Library News

☎阿蘇図書館 ☎ 32-0067 / 一の宮図書館 ☎ 22-2916 http://www.aso-lib.jp/

新 着 案 内

『まろ丸伊勢参り』

畠中 恵 著 (KADOKAWA)

両替商の三男坊・九郎の姪の結に、大坂の店の跡取りになる話が舞い込む。なぜか伊勢まで結を連れて来て欲しいと言われ、伊勢まで送り届けることに…。



『自分の好きな形に作れる
バッグの本』 (ブティック社)

自由に好きな形のバッグを作ろう！デザインを自由に組み合わせたオリジナルバッグを作るための製図の仕方と縫い方を詳しく解説する。



『クスリ早見帖ブック市販薬 1000』

平 恵 二 著 (南山堂)

服用した市販薬の成分特定を容易にする本。1000種類の市販薬(内服薬・外用薬・漢方製剤)の区分や用法用量・成分・写真を掲載。



『いちにちおこめ』 (PHP 研究所)

ふくべ あきひろ さく かわしま ななえ え
おこめって、どうやってつくってるんだろう。おこめになってみよう！「たねもみ」になって、たねとして植えられて…。一粒のおこめができるまでを描いた絵本。



移動図書館

阿蘇・一の宮地区 (10月3日 金・11月7日 金)

西役犬原公民館	10:00～10:10
▼	
竹原公民館	10:15～10:30
▼	
坊中公民館前	10:40～10:55
▼	
赤水駅前	11:15～11:25
▼	
宮本酒店前(車帰)	11:35～11:45
▼	
坂梨公民館	15:15～15:25

波野地区 (10月8日 火・11月12日 火)

波野保健福祉センター	11:20～11:30
------------	-------------

※ 天候や道路状況により巡回を中止することもあります。

おはなし会

おはなしボランティア『おはなしアップル』のおはなし会を開催します。参加は無料です。ぜひ、ご参加ください。

とき 10月18日(土) 午前10時30分

ところ 阿蘇図書館

第7回致知会地域セミナー オンライン (Zoom)

「アルコール依存症を理解する・支える」
～アルコール依存症を支える人たち～

令和7年11月22日(土) 10:00～12:00 (入室9:45)

講師 水澤 都加佐先生 HRI 水澤都加佐カウンセリングオフィス 所長
当事者 (ゆっこ様) アメリカ・ロサンゼルス在住
ご家族 (きら様) ※同時通訳つき

主催：社会福祉法人致知会 問合せ先：〒869-2226 阿蘇市乙姫1600番地1
養護老人ホームあそ上寿園 Tel. 0967-32-5501 担当：藤本

参加費無料



QRコードがID・パスコードから、どなたでも自由にお入りいただけます。

ID : 867 9580 9088
パス : 2025